# 令和７年度の決算を徹底チェック！

令和８年矢巾町議会定例会９月会議では、令和７年度決算に関する審議が行われました。
審議のうち、９月15日に行われた総括質疑の内容の一部を報告します。

## 一般会計

### 財政運営

**質問** 公債費負担比率が前年度比で1.3％改善されたことを、どう評価しているか。

**回答** 公債費負担比率は今後数年で減少傾向に進むと捉えており、それにより財政に余裕が生まれると考える。

**質問** 財政調整基金の取り崩しで実質単年度収支が赤字となったのは、一時的か。

**回答** 財政調整基金からの繰入が多い年度であったのは一時的な要因による。基金残高は基準財政需要額の10％を下回らないよう維持したい。

**質問** 決算で明らかになった課題や成果を次の予算編成に活かすことが重要。どのように反映させる考えか。

**回答** 基金の繰入が多かったことを踏まえ、８年度当初予算では基金の繰入を抑制。９年度においても、将来構想上の大規模事業もあることから、各課とのヒアリング時間を十分に設け、細かいところまで突き詰めて編成したい。

**質問** 事業の見直しが重要。見直しや廃止による予算や支出の削減効果を一覧にまとめ、示す考えはないか。

**回答** 一覧にまとめ、示せるよう対応していく。また、予算や決算のあり方の議論も進める。今後は、フューチャーデザインと※スマートシュリンクの考え方を導入した指針を示し、事務事業の運営に取り組んでいきたい。

**質問** 予算執行に関する報告書の内容がもっと濃いものになることを望む。事業実績と総合計画の指標を結び付け、課題や成果を明瞭にしては。

**回答** 実績数値のみの記載ではなく、総合計画に対する効果などを含めた報告となるよう改善を図る。

### 税収対策

**質問** 滞納繰越額が増加した。この状況が財政運営に与える影響をどう捉えているか。また、今後の目標と滞納繰越額の縮減に取り組む考えは。

**回答** これまでの滞納整理に係る事務では不十分と認識。８年度は早急な財産調査、迅速な差し押さえを行っており、滞納を増やさない取り組みを継続していく。

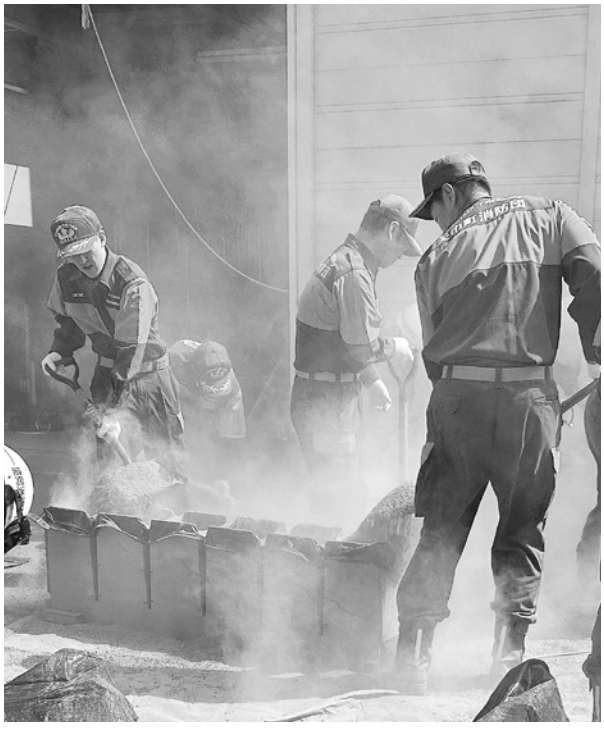
**質問** 新規滞納を防ぐための入口の対策は。

**回答** 広報やホームページでの周知は当然行い、常に一人ひとりが納期限に納めるという意識を持っていただく呼びかけを実施する。

### 防災対策

**質問** 防災対策は「伝わる」ことが最初の段階で重要。７年度は防災ラジオやJアラート全国瞬時警報システムの更新など、情報伝達の整備に取り組まれたが、次の段階で重点を置く防災課題は何か。

**回答** 一番大切な「避難行動にどうつなげるか」が大きな課題。周知・訓練を日常的に強化していきたい。



令和８年度矢巾町総合防災訓練での土のう作製訓練

※スマートシュリンク…公共サービスを「賢く」集約・縮小しながら、利便性や生活の質を維持向上させる考え方。

## 空き家対策

**質問** 空き家を利用したお試し住宅などの考えはないか。

**回答** 現在は空き家の所有者への意向調査を進めている。意向を踏まえながら、次の段階として何が可能か、所有者と共に状況を確認しながら進めていきたい。

## 町営住宅

**質問** 町営住宅への入居のニーズをどう把握しているか。

**回答** 老朽化が著しい矢巾住宅や高田住宅にお住まいの方を対象にアンケート調査を行い、転居を希望される方は優先的に別の町営住宅への転居を促した。町営住宅入居への応募者は年々減少傾向と捉えている。

## 河川管理

**質問** 河川の雑物除去が地域の負担となっていないか。

**回答** 一級河川については地域の状況を踏まえて県に相談している。各状況を確認し、できる限り対応していきたい。

## 特産品開発

**質問** 特産品開発にあたり、町内事業者や生産者の販路拡大、所得向上、地域産業の育成を考えているか。

**回答** 特産品開発は、町産の農産品を使うことが前提。

農商工共創協議会では町内4者が連携し、ひまわりをモチーフにしたクッキーとコーヒーのセット商品を開発。引き続き、このような取り組みの支援にも対応したい。



令和８年度に開発した商品（農商工共創協議会）

## ふるさと納税

**質問** ふるさと納税の寄付額第1位が動物保護シェルターへの応援寄付であったが、このシェルターの実態がよく掴めない。

ふるさと納税の仲介業者の紹介であっても、町のチェックが必要なのではないか。

**回答** 国において、ふるさと納税は厳格化されており、登録内容は県を通じて事前に審査を受けているものである。

## ヤングケアラー

**質問** こども若者計画策定にあたり、こどもや若者の実態や課題をどう把握したのか。

また、ヤングケアラーの状況はどうか。

**回答** 18歳未満の方は計画策定前に調査を実施。また、若者を対象としたアンケートやワークショップを実施し、意見を聴取。

ヤングケアラー調査は児童生徒を対象に2年に1回実施しており、現在1件の支援。

## 煙山保育園

**質問** 煙山保育園は公立として何を重点化するのか。私立との役割分担など、人口減少を見据えた町全体の保育提供体制の考えは。

**回答** 町内唯一の公立保育園として中核的な役割を担う。こども誰でも通園制度のような国の新規事業の受け皿であることも重要と認識。医療的ケア児などの支援が必要な子どもの保育環境の整備などは、継続して取り組んでいきたい。

## 産後ケア

**質問** 産後ケアは、専門機関への接続など切れ目のない支援を行っているか。

**回答** 母子手帳交付時や各種検診で実態を把握。支援が必要な方に支援メニューを活用いただく。ニーズの把握や周知に今後も取り組んでいく。

## 多世代交流の場

**質問** えんじょいセンターは多世代が集まれる施設としてもう少し工夫が必要では。

**回答** 多世代が交流できる場を設けることは重要と認識。機会を捉えて体制を検討する。

## 学校適応支援員

**質問** 学校の適応支援員を増員した効果は、教職員のみならず児童生徒にどう行き届いているか。

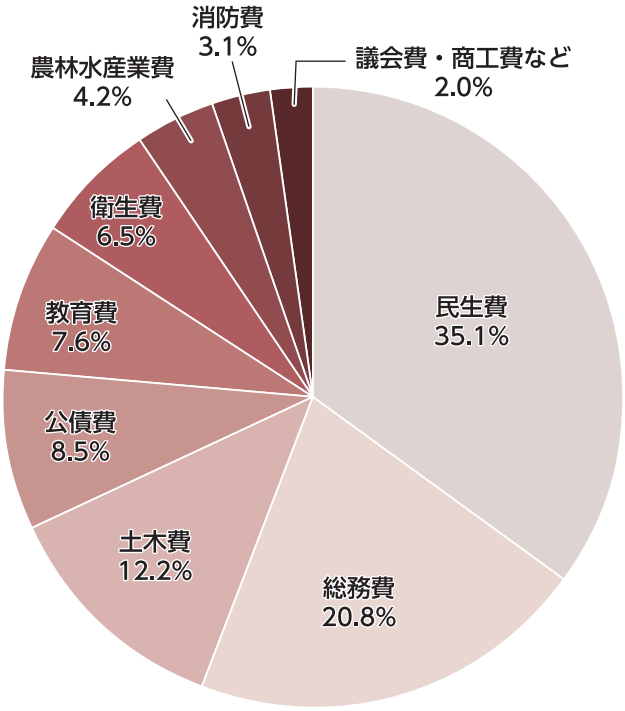
**回答** 増員によって各学校に校内支援センターの設置拡充が図られた。これにより常駐の支援員を配置でき、常に子どもたちを支援できる体制が整った。

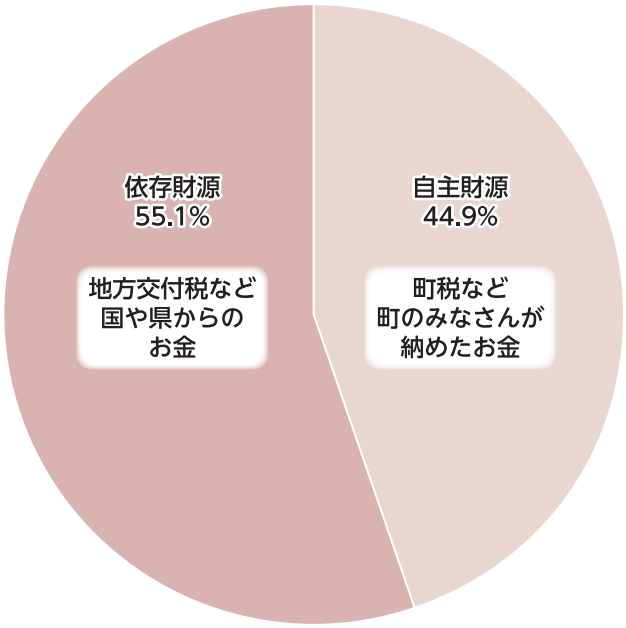
# 令和７年度決算概要

## 一般会計の令和７年度予算執行状況

**歳出（使ったお金）**
**１３８億5,２８２万２千円**

**歳入（入ってきたお金）**
**１４４億3,０３２万２千円**




## 令和７年度の各会計決算額

| 会計名 | | | | 収入額 | 支出額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | | | 144億3,032万2千円 | 138億5,282万2千円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業会計 | | | 25億5,035万9千円 | 25億2,635万1千円 |
| | 介護保険事業会計 | | | 27億5,469万1千円 | 25億5,472万4千円 |
| | 後期高齢者医療会計 | | | 3億5,682万1千円 | 3億5,179万7千円 |
| 企業会計 | 水道事業会計 | | 収益的 | 9億2,067万8千円 | 7億1,320万5千円 |
| | | | 資本的 | 5,059万4千円 | 4億9,710万7千円 |
| | 下水道事業会計 | 公共下水道事業 | 収益的 | 8億6,586万4千円 | 7億9,651万8千円 |
| | | | 資本的 | 2億7,612万円 | 4億8,685万円 |
| | | 農業集落排水事業 | 収益的 | 2億9,466万4千円 | 2億7,621万3千円 |
| | | | 資本的 | 8,723万3千円 | 1億9,820万円 |

**詳しくは**

令和７年度決算の詳細は、矢巾町ホームページに掲載されています。

※金額はすべて千円未満切捨で掲載しています。

# 討論

令和7年度の決算8議案に対し、2名の議員が反対と賛成、それぞれの立場で討論を行いました。

**反対　小川 文子 議員**

1点目は、財源確保に重要なふるさと納税の取り組みについてです。残念ながら返礼品数が少ないなどの課題があり、寄付額は8,000万円ほどにとどまっています。

令和7年度の返礼品第1位は、動物保護シェルターへの応援寄付でしたが、ふるさと納税は本町の農産物、そして魅力を再認識し、発信していく場に立ち返るべきです。

仲介業者任せにせず、町の責任でしっかりとチェックを行うことを願います。

2点目は、南昌みらい高校体育館の建設をめぐる一連の経過についてです。議会や町民への説明責任が果たせていないことは、重要な課題だと思います。

以上の2点により反対討論といたします。

**賛成　村松 信一 議員**

令和7年度決算の賛成討論に先立ち、ギャンブル依存症更生施設の開設判断について話します。

3年ほど前に、ギャンブル依存症更生施設の開設を許可した町長の判断については、私は改めて、極めて高く評価をしたいと思います。

町長の判断は単なる社会的施策ではなく、人を見捨てない町、再チャレンジを支える町という、矢巾町を体現する政策判断であり、私はこの姿勢を議会として正当に評価すべきと考えます。再び社会に戻り、家族や地域の中で自分らしく生き直すことを、願い支える町の姿勢こそ、地方自治の役割であると思います。

1人でも多くの方が更生し早い社会復帰を願い、賛成討論といたします。

# 令和7年度決算 7項目の付帯意見を付して認定

**令和8年9月18日、予算決算常任委員会の昆秀一委員長は7項目の付帯意見を付したうえで認定すべきとの意見書を議長に提出し、賛成多数で認定しました。**

## 付帯意見　7項目

1. 町税および国民健康保険税などの滞納の要因を把握・分析し、生活困窮などにより支援が必要な場合は速やかに福祉部門などへつなぐ体制を強化するとともに、収納率向上に努められたい。
2. 各事業の決算においては成果・住民福祉の効果・費用対効果を検証し、事業の継続・改善・廃止などの判断に反映されたい。
3. 委託料は業務内容、契約方法、委託の必要性および費用対効果を検証し、適正な事業の実施に努められたい。
4. 空き家対策は相談体制の充実を図り、移住および短期利用などの有効活用を推進されたい。
5. 近年の線状降水帯・集中豪雨などを踏まえ、田んぼダムなど災害に対する予防保全対策を推進するとともに、自主防災組織による実践的な防災訓練を強化されたい。
6. ふるさと納税は財源確保のため、返礼品に本町の農産物などを取り入れ積極的に展開されたい。
7. 不登校対策は、保護者・学校・教育委員会および地域が連携して児童生徒に寄り添った、よりきめ細やかな早期対応と相談環境の充実に取り組まれたい。

